

生活指導語録

野口 英一

あ・・・愛情をかけろ（愛情を持って接すれば、必ず通じる。）
い・・・命の大切さを教えろ（人の命の尊厳を知らせる。）
う・・・嬉しさを顔に出せ（ともに喜ぶ一体感）
え・・・笑顔を絶やさず（笑顔は安心感）
お・・・重く誉めろ（ねらいをさだめて）
か・・・かまえをつくれ（心がまえのこと）
き・・・厳しくそして楽しく（厳しさを乗り越えた楽しさ）
く・・・苦しみは楽しみ（苦しいときが成長の時）
け・・・げんこつは応急手当（げんこつだけで指導を終わらせず、後で話を）
こ・・・細かく見て細かく言わない（注意深く見ながら、ここぞと指導）
さ・・・諭す前に悟れ（言い聞かせる前にその子を知ろう）
し・・・自我と信念の違いを教えろ（エゴと思想の違い）
す・・・数字で生徒を判断するな（偏差値だけが人間の価値ではない）
せ・・・全力をかたむけさせろ（ベストを尽くすことの大切さを教えよう）
そ・・・その場その場の指導（気づいたらすぐに声かけ）
た・・・担任は生徒の心をつかめ（表情の奥に隠されているものを探り出そう）
た・・・だまされることも指導の内（生徒を信じて、わかってだまされよう）
ち・・・地位、権力は無縁（品性で勝負しよう）
つ・・・強くて優しい女性にさせろ（ほんとの優しさは強さから生まれる）
て・・・手とり足とりは子供の迷惑（自ら考え、自ら行動）
と・・・「どうしたの」と話しかけ（わかっている、疑問符で）
な・・・「なぜ」と問いかけ（心の底に何かあるかも）
に・・・逃げ道をつくれ（生徒の心のよりどころ追い込みすぎず恩を着せよう）
ぬ・・・盗人にも五分の魂（悪さをした生徒にも何かの理由があるのでは）
ね・・・寝る子は育つ（何事にも休息が必要）
の・・・のぞみは共に（同じ目的を持って）

は・・・話を聞かせろ（人の話は聞くことが当たり前）
ひ・・・百人いれば百の指導（生徒によって指導は違う）
ふ・・・ブレーキをかけるな（目的あることには挑戦させろ）
へ・・・ヘッドをまわせ（頭を使って考えさせよう）
ほ・・・本気で怒れ（その子の将来を見据えて怒ろう）
ま・・・間違ったら戻させろ（戻る勇気を教えよう）
み・・・ミスを恐れるな（ざるで水をすくうようなミスはしない）
む・・・難しいことを優しく（わかりやすく話そう）
め・・・目は心（目の輝きを観察しよう）
も・・・もう一回の心（あと一回だまされよう）
や・・・やるか、やらないか（やるまで指導）
ゆ・・・ゆるす心とゆるせる心（完璧に出来る者は少ない）
よ・・・喜びを教えろ（喜びや楽しさは明日への力）
ら・・・ラストチャンスをもう一度（何度もあるラストチャンス）
り・・・リラックスせよ（肩の力を抜いて柔軟に）
る・・・留守をまかせろ（留守を守れる生徒にさせよう）
れ・・・礼儀を教えろ（まず挨拶から始めよう）
ろ・・・ロケットだって帰還する（突き放すことも大切な指導）
わ・・・笑って怒鳴れ（笑顔で叱れ）
ん・・・「ん」と納得（お互いを認めあえる師弟関係）